

バイニー理論 (1)

「神経系のダイナミクスを考える」

～BiNI Theory : Biomechanics and Neuroscience Integrative Theory～

(統合的運動生成概念)

概要

神経系は身体の隅々まで張り巡らされており、電気化学機構によって情報を伝達する重要な組織である。神経系の存在は、我々の身体に随意的・自律的な調節をもたらす。脳や脊髄を包む硬膜は、末梢においては神経上膜となり絶縁や伸長効力を作用させ神経組織を保護する。このように結合組織に包まれている神経系は、血管と併走しながら身体各所の狭小なすきまをくぐり抜けて一体のネットワークを構築している。機械工学的な視点から、層構造をなす人体は層間の滑走により体節間の動きが保障されていると考察されている。神経系も例外ではなく、神経組織の滑走の障害は可動域制限を引き起こすであろう。さらに、それに伴って筋力低下・痛み・痺れなどの症状を呈する。

本セミナーでは講義のほかに、バイニー理論に基づく実技を行います。

1. 代表的な神経系ストレステスト
2. 神経性のエンドフィールの確認
3. 神経系が一体であることの体験
4. 症例を通じた治療戦略の紹介

【講師】 山岸 茂則先生

(BiNIリハビリセンター「Physical Wave Resonance」)

【日時】 2017年9月3日(日) 9:00～16:00 (8:30受付)

【受講料】 9000円(税込・申し込み順) 当日現金にて徴収

【申し込み方法】 HPにて受付

【HP】 <http://jissen-riha.com>

【定員】 30名程度

【問い合わせ】 jissen-riha2@ab.auone-net.jp

【会場】 グリーンホスピタルサプライ(株) 4階大会場
(〒565-0853 大阪府吹田市春日3-20-8)

【交通のご案内】 北大阪急行電鉄「桃山台駅」下車
南改札口より南へ徒歩7分

